

令和 4 事業年度

決算報告書

【第19期】

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

国立大学法人 お茶の水女子大学

令和4年度 決算報告書

国立大学法人 お茶の水女子大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	4,417	4,545	128	(注1)
施設整備費補助金	527	523	△ 3	(注2)
補助金等収入	580	363	△ 216	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	18	18	-	
自己収入	2,218	2,898	680	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,742	1,662	△ 79	(注4)
財産処分収入	370	900	530	(注5)
雑収入	106	336	229	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	808	894	85	(注7)
引当金取崩	-	0	0	(注8)
目的積立金取崩	385	303	△ 81	(注9)
計	8,953	9,546	593	
支 出				
業務費	7,064	6,825	△ 238	
教育研究経費	7,064	6,825	△ 238	(注10)
施設整備費	545	541	△ 3	(注11)
補助金等	536	612	76	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	808	889	81	(注13)
計	8,953	8,869	△ 84	
収入 - 支出	-	677	677	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、追加配分により、予算額に比して決算額が128百万円増額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算策定時に見込んでいた工事総額の減少により、予算額に比して決算額が3百万円減額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、授業料等減免費交付金が52百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。また、受入額の減少により、予算額に比して決算額が216百万円減額となっています。
- (注4) 授業料及び入学金及び検定料については、受入額の減少により、予算額に比して決算額が79百万円減額となっています。
- (注5) 財産処分収入においては、想定を上回る売却額であったため、予算額に比して決算額が530百万円増額となっております。
- (注6) 雑収入については、財産貸付料等の増加に努めたことにより、予算額に比して決算額が229百万円増額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入については、受託研究の受入額の増加により、予算額に比して決算額が101百万円増額となっています。寄附金収入等については、大口寄附の獲得がなかったことにより、予算額に対して決算額が15百万円減額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、予算額に比して決算額が0百万円増額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、高速キャンパス情報ネットワーク整備事業等による取崩額の減少により、予算額に比して決算額が81百万円減額となっています。
- (注10) 新型コロナウイルス流行による業務の縮小により、予算額に比して決算額が238百万円減額となっています。
- (注11) 注2に示した理由により予算額に比して決算額が3百万円減額となっています。
- (注12) 注3に示した理由及び前年度繰越の執行額が増加したことにより、予算額に比して決算額が76百万円増額となっています。
- (注13) 執行額が増加したことにより、予算額に比して決算額が81百万円増額となっています。